

プログラム

二月二日(土)

公開シンポジウム「土地所有の世界史」

法文二号館一番大教室(午後一時～五時)

司会・趣旨説明

報告

- 1 日本中世における土地所有の法生活
- 2 検地もたらした〈分離〉と〈交流〉
——日本近世の土地所有——
- 3 近現代日本の土地所有と共同性
——水辺・山野利用と市街地形成——
- 4 中世エジプト・イクター制下の土地と環境
をめぐる権力関係
——スルターン・アラブ部族・農民——
- 5 中国史上の土地・不動産
——所有権論をめぐる比較にむけて——

コメント
討論

松沢 裕作
新田 一郎
牧原 成征
沼尻 晃伸
熊倉和歌子
田口宏二朗
丹下 栄

二月二日(日)

日本史部会

古代史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午前九時三〇分～一二時)

- 1 四世紀以前における日本書紀の紀年復原
- 2 試験官任命と受験許可の方式からみた古代
学制の展開
- 3 「式と次第書」
- 4 撰定期物語における帝の罪障
——「源氏物語」「采花物語」の記述から——
- 5 院政期の受領制と受領像

中世史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午後一時～三時)

- 1 後三条天皇と藤原頼通の対立関係に関する
一考察
- 2 一三世紀後半の朝幕関係と摂関家
- 3 南北朝期室町幕府直臣の京郊支配と荘園侵
略
- 4 長尾景春の対幕府交渉

——新出書状写による文明期「都鄙和睦」の
再検討——

高見 友幸
堀 祐輔
高橋 宙暉
伊藤 翔太
室伏 奏衆
佐野 啓生
石渡 正樹
鎌田 宜伸
川口 成人

近世史部会 法文一号館三二五番教室

研究発表(午後二時〜四時)

- 1 「柳川一件」以後、対馬藩の朝鮮通交シス
テムの再建

顧 明源

- 2 近世日本の出版統制と史蹟・事蹟
——享保二〇年五月の老中申渡し再考——

清水 光明

- 3 柳閣席大名考
——課役・家格・帝鑑閣席との関係——

望田 朋史

- 4 江戸幕府外国奉行所の形成過程

張 郭原

近現代史部会 法文二号館二番大教室

研究発表(午後一時〜五時)

- 1 明治後期における海軍法の国際的統一と日
本——海上衝突予防法規を中心に——

今田 風人

- 2 明治憲法体制をめぐる統合と政治
——大藏官僚の政策構想を中心に——

篠原 大輝

- 3 初期緊急勅令の運用と議會政治

原科 颯

- 4 第一回普通選挙と仏教界——仏教界の選挙活
動と教団内議會選挙を中心に——

出口 颯涼

- 5 関東軍統治部の法制委員会からみる日本の
「満洲国」統治構想

張 小栄

東洋史部会 法文一号館一一三番教室

研究発表(午前九時三〇分〜午後四時三〇分)

- 1 秦始皇帝巡行再考——嶽麓案簡「秦律令(貳)」
の始皇帝詔書を手がかりに——

宋 瑞昇

- 2 後漢・靈帝の軍制改革と將軍自称

青木 竜一

- 3 東晋における納后礼の形成

林 子微

- 4 北魏の対柔然政策と六鎮の乱

三宅舞佐志

- 5 使牒から見た唐代文書行政とその変化

王 典典

- 6 安祿山の伝説とその創作

速水 大

- 7 清中期の人參採取における旗人と民人の関
係——琿春地域に着目して——

朴 一賢

- 8 ベンガル管区北東部ランガマティにおける
イギリス東インド会社による象の貢納制度
改革の環境史的分析(一七六五〜一八〇九
年)

溝淵 智咲

- 9 一八〇〇年前後におけるジャワ島植民地統
治とアヘン政策の変容

大久保翔平

- 10 清咸豊帝期の反乱鎮圧政策——太平天国の乱
初期の郷勇・團練を中心に——

朱 勃珥

- 11 一八六七年の蘆山蓮花洞事件からみた清末
の外国人借地紛争と地方交渉

趙 楚楚

- 12 中国国民政府の戦後構想における復員政策
とその変容 一九四三—一九四七

藤井 元博

西洋史部会 法文一号館二一五番教室

研究発表(午前九時三〇分〜午後一二時五〇分)

- 1 前四世紀以降のアテナイにおけるポリスと外国人——墓碑が示唆する夫婦関係の実態に注目して——

篠原 道法

部会シンポジウム「中世後期の教皇と文書」
趣旨説明
報 告

(午後二時〜午後五時一〇分)

菊地 重仁

- 2 一四世紀イングランドにおけるタウン&ガウンの関係と王権

弓岡 弘樹

- 1 一三世紀における教皇書簡作成の背景
- 2 教皇特使文書研究の諸観点
- 3 非キリスト教圏君主宛教皇文書にみる自他の呼称

小林亜沙美
縷田 宗紀

- 3 ライン同盟と神聖ローマ帝国——一六六三

照屋 雄介

コメント
菊地重仁・佐藤雄基

- 4 一八世紀トスカーナにおける憲法計画

大西 克典

- 5 二重制期オーストリアにおける一九二二年イスラーム法の成立過程

奥田 弦希

——一九〇九年一月一四日の予備討議ならびに草案A・B・Cの分析を中心に——